

I. 学会運営に関する報告

1. 主な会合

本期間中に通常総会を始めとし、次の会合を開催した。

(1) 総会

通常総会

日時	2024年5月16日(木)	午後1時30分～6時45分
場所	東京ガーデンパレス(東京都文京区湯島1-7-5)	
出席者	49名(出席者22名, 委任状提出者8名, 書面投票19名)	
議案	1. 令和5年度決算承認の件	
報告事項	1. 令和5年度事業報告の件 2. 監査報告の件	
関連行事	1. 学会賞授賞式 2. 学会功労者感謝状贈呈式 3. 特別講演 演題 「マルチステージ」と「文理複眼」 —第三世代の大学と社会— 講師 國學院大學 吉見 俊哉	
	4. 出席者交流会	

(2) 理事会	8回
(3) 総務・会計担当理事会	8回
(4) 学術・編集担当理事会	8回
(5) 事業担当理事会	9回
(6) 委員会等	
1) 学術講演会運営委員会	3回
2) 2024年度日本冷凍空調学会年次大会実行委員会	2回
3) 2025年度日本冷凍空調学会年次大会準備委員会	2回
4) 空気調和・冷凍連合講演会運営委員会	2回
5) 事業委員会	1回
6) 北海道地区事業推進委員会	2回
7) 東北地区事業推進委員会	1回
8) 関東地区事業推進委員会	9回
9) 中部地区事業推進委員会	4回
10) 近畿地区事業推進委員会	11回
11) 西日本地区事業推進委員会	6回
12) 食品冷凍事業委員会	3回
13) 出版事業委員会	4回
14) 冷凍技士運営委員会	8回
15) 若手技術者研修会企画委員会	1回
16) 通信教育委員会	9回
17) ICC2024 実行委員会	1回
18) 規格制定委員会・ISO/TC86 国内分科会	2回
19) 冷凍空調技術委員会	1回
20) 食品技術委員会	1回
21) 冷媒技術委員会(R23代替冷媒PJ(27項)と同時開催)	4回
22) 圧縮機技術委員会	4回
23) 熱交換器技術委員会	4回
24) 次世代冷凍システム技術委員会	9回
25) デシカント・吸着・吸収・化学系技術委員会	1回
26) 熱交換器技術委員会・カーボンニュートラルに向けた	

先進熱交換技術に関する調査研究プロジェクト	4回
27) 自然冷媒冷凍空調システム技術委員会・ 自然冷媒システム調査研究プロジェクト	4回
28) R23 代替冷媒に関する調査研究プロジェクト	4回
29) 冷媒容器管理システム調査研究プロジェクト	7回
30) 学会誌編集委員会	7回
31) 冷凍空調技士考査委員会および試験分科会	4回
32) 食品冷凍技士考査委員会および試験分科会	3回
33) 論文集編集委員会	6回
34) 論文集運営推進検討分科会	2回
35) 学会賞選考委員会	2回
36) 学術賞分科会	3回
37) 技術賞分科会	2回
38) 優秀講演賞分科会	1回
39) アジア学術賞選考委員会	1回
40) 著作権委員会（メール会議含む）	4回
41) 戦略会議	（政策委員会に含む）
42) 政策委員会	4回
43) 広報委員会・ウェブサイト連絡協議会	1回
44) 保安委員会	2回
45) 新冷媒評価委員会	2回
46) 温暖化問題等対策検討委員会	5回
47) カーボンニュートラル 2050 委員会	4回
48) 100周年事業委員会および事業実行委員会	4回
49) 代表会員選挙管理委員会	4回
(7) 講演会（学術講演会，技術交流会等）	2回
(8) 定例講習会，セミナー，シンポジウム，見学会	36回
(9) 通信教育講座（6月コース，10月コース）	2回
(10) 資格試験，検定試験	4回

2. 役員会に関する事項

2024年度中に理事会8回，その他担当業務毎に担当理事会を開催した。

理事会の主な議題は次の通りである。

- (1) 理事会・総会スケジュールおよび担当の件
- (2) 令和7年度事業計画の件
- (3) 令和6年度職務執行状況報告書の件
- (4) 令和6年度決算・事業報告および令和7年度活動計画・予算の件
- (5) 監査報告の件
- (6) 学会書籍出版計画の件
- (7) 事業所別会員数の件
- (8) 学会規則改訂の件
- (9) 学会賞の件
- (10) 事務局職員昇給及び夏期及び冬期一時金の件
- (11) 他団体委員派遣の件
- (12) 共催・協賛依頼承認の件
- (13) 月次決算報告の件
- (14) 毎月の入会者承認の件
- (15) 事業開催報告の件
- (16) 委員会開催報告の件
- (17) 高圧ガス保安協会表彰の件
- (18) 日本工学会フェロー推薦の件
- (19) 100周年事業委員会・事業実行委員会の件
- (20) 学会ビジョン100th 策定の件

3. 届出、監査に関する事項

(1) 行政庁届出、登記事項

事項	行政庁届出日	宛先
事業報告等の提出	2024年6月26日	内閣総理大臣
事業計画書等の提出	2025年3月19日	内閣総理大臣

(2) 事業報告、収支決算監査

日時 2024年4月17日(水) 15時00分～16時20分
 場所 学会会議室(一部WEB参加)
 出席者 四十宮正人, 宮良明男, 平良繁治 各監事
 齋藤潔会長, 佐々木正信, 鹿園直毅, 古庄和宏 各副会長
 佐藤晋一郎, 繁永昌弥, 豊島正樹, 西崎太真, 橋本克巳 各理事
 内容 令和5年度事業報告, 決算報告の監査

4. 会員動向

種別	2025年3月31日現在	2024年3月31日現在
名誉・特別会員	13名	14名
賛助会員(団体)	10社	10社
第一種正会員(法人) 特級	6社	6社
A級	4社	4社
B級	17社	16社
C級	24社	24社
D級	192社	189社
(小計)	243社	239社
第二種正会員(個人)	3,138名	3,264名
学生会員	55名	68名

5. 代表会員選挙結果

現在の代表会員の任期が2025年5月の通常総会までとなっていることに伴い、次期の代表会員を選ぶ代表会員選挙を実施した。立候補の受付を2024年7月8日から8月30日まで行ったところ、50名の立候補の届け出があった。なお、いずれの地区も定員を超えていないため、代表会員選挙・運営内規の第6条4項の規定に従い、下記の立候補者が無投票で2025・2026年度の代表会員に当選とした。

任期：2025年5月15日の通常総会～2027年5月の通常総会まで

北海道地区(定員2名)

小原 伸哉 北見工業大学 山本 吉照 三菱電機住環境システムズ(株)

東北地区(定員2名)

佐々木 直栄 日本大学 長根 靖浩 東北電力(株)

関東地区(定員21名)

皆瀬 匡由 三菱重工冷熱(株) 香川 澄 早稲田大学
 木下 英也 三菱電機ビルソリューションズ(株) 草部 隆弘 (株)ダイアプライトシステムズ
 久保 直樹 日立グローバルライフソリューションズ(株) 小嶋 満夫 東京海洋大学
 後藤 邦彦 東京電力エナジーパートナー(株) 齋藤 潔 早稲田大学
 白樫 了 東京大学 薛 しゅん (株)日立製作所

大宮司 啓文	東京大学	田村 純人	東京大学医学部付属病院
張 莉	(一財)電力中央研究所	豊島 正樹	三菱電機(株)
中村 元	防衛大学校	中村 博	ダイキン工業(株)
野中 正之	日立ジョンソコントロールズ空調(株)	長谷川 泰士	三菱重工サーマルシステムズ(株)
増田 哲也	パナソニック(株)	町田 明登	(株)前川製作所
泰岡 顕治	慶應義塾大学		

中部地区 (定員 8 名)

木全 央幸	三菱重工サーマルシステムズ(株)	鈴木 秀明	日本キャリア(株)
寺岡 喜和	金沢大学	内藤 宏治	日立ジョンソコントロールズ空調(株)
吹場 活佳	静岡大学	前田 剛志	三菱電機(株)
丸山 直樹	三重大学	渡邊 激雄	名古屋大学

近畿地区 (定員 10 名)

浅野 等	神戸大学	伊與田 浩志	大阪公立大学
岩崎 正幸	日立グローバルライフソリューションズ(株)	狩野 剛一	長谷川鉄工(株)
佐多 裕士	三菱電機(株)	島崎 智史	関西電力(株)
鷺田 晃	パナソニック(株)	古庄 和宏	ダイキン工業(株)
峰松 徹	(株)前川製作所	涌井 徹也	大阪公立大学

西日本地区 (定員 7 名)

井植 哲二	アイスマン(株)	酒見 和幸	(株)九電工
田中 史彦	九州大学	濱本 芳徳	九州大学
三重野 純	三菱電機(株)	宮良 明男	佐賀大学
山田 寛	岡山大学		

6. 代表会員, 理事, 監事に関する事項

(1) 代表会員

定款第 11 条に従い, 選挙により選出された代表会員は下記の通りである。(2025 年 3 月 31 日現在)
任期: 2023 年 5 月 18 日の通常総会~2025 年 5 月の通常総会まで

北海道地区 (定員 2 名)

小原 伸哉	北見工業大学	山本 吉照	三菱電機住環境システムズ(株)
-------	--------	-------	-----------------

東北地区 (定員 2 名)

赤松 正人	山形大学	横山 正剛	東北電力(株)
-------	------	-------	---------

関東地区 (定員 21 名)

石田 裕二	(株)前川製作所	香川 澄	早稲田大学
久保 直樹	日立グローバルライフソリューションズ(株)	小嶋 満夫	東京海洋大学
齋藤 潔	早稲田大学	佐々木 正信	東京電力エナジーパートナー(株)
佐藤 晋一郎	三菱重工冷熱(株)	鹿園 直毅	東京大学
繁永 昌弥	ダイキン工業(株)	関谷 禎夫	(株)日立製作所
大宮司 啓文	東京大学	堂岸 善宏	三菱電機ビルソリューションズ(株)
豊島 正樹	三菱電機(株)	西崎 太真	三菱重工サーマルシステムズ(株)
橋本 克巳	(一財)電力中央研究所	法福 守	日立ジョンソコントロールズ空調(株)
増田 哲也	パナソニック(株)	町田 明登	(株)前川製作所
宮内 悟	(株)ガイナプライトシステムズ	本村 昇	東邦大学医療センター佐倉病院
山口 誠一	早稲田大学		

中部地区 (定員 8 名)

木全 央幸	三菱重工サーマルシステムズ(株)	鈴木 秀明	日本キャリア(株)
寺岡 喜和	金沢大学	内藤 宏治	日立ジョンソコントロールズ空調(株)

中山 浩	中部電力(株)	廣田 真史	愛知工業大学
吹場 活佳	静岡大学	前田 剛志	三菱電機(株)

近畿地区（定員 10 名）

狩野 剛一	長谷川鉄工(株)	神戸 雅範	(株)前川製作所
木下 聡	日立グローバルソリューションズ(株)	佐多 裕士	三菱電機(株)
鈴木 洋	神戸大学	田口 雄一郎	関西電力(株)
鷺田 晃	パナソニック(株)	古庄 和宏	ダイキン工業(株)
松本 亮介	関西大学	涌井 徹也	大阪公立大学

西日本地区（定員 7 名）

赤坂 亮	九州産業大学	井植 哲二	アイスマン(株)
田中 史彦	九州大学	濱本 芳徳	九州大学
堀部 明彦	岡山大学	三重野 純	三菱電機(株)
山本 克也	西部ガス(株)		

7. 役員に関する事項

理事，監事，業務執行理事は下記のとおりである。（2025年3月31日現在）
任期：2023年5月18日の通常総会～2025年5月の通常総会まで

① 理事

小嶋 満夫	齋藤 潔	佐々木 正信	佐藤 晋一郎	鹿園 直毅
繁永 昌弥	関谷 禎夫	大宮司 啓文	田中 史彦	豊島 正樹
西崎 太真	橋本 克巳	廣田 真史	鷺田 晃	古庄 和宏
法福 守	前田 剛志	町田 明登	山口 誠一	

② 監事

平良 繁治	宮良 明男	四十宮 正人
-------	-------	--------

③ 業務執行理事

会 長	齋藤 潔				
副会長（総務・会計担当）	佐々木 正信				
〃（学術・編集担当）	鹿園 直毅				
〃（事業担当）	古庄 和宏				
理 事（総務・会計担当）	佐藤 晋一郎	繁永 昌弥	豊島 正樹	西崎 太真	橋本 克巳
〃（学術・編集担当）	関谷 禎夫	大宮司 啓文	田中 史彦	廣田 真史	法福 守
〃（事業担当）	小嶋 満夫	鷺田 晃	前田 剛志	町田 明登	山口 誠一

8. 事務局員に関する事項

2025年3月31日における事務局員は下記のとおりである。

事務局長	吉川 朝郁		
事務局員	古川 博雅	佐藤 翔	他4名
嘱託職員	宇田 康雄	山口 昌之	西口 章

II. 事業に関する報告

公益社団法人である学会は冷凍空調及び食品冷凍に関する学術団体として，定款第4条に定められた下記事業を行った。

- (1) 技術普及及び技術者育成などの教育事業
- (2) 国際冷凍学会などとの連携・協力による国際交流事業
- (3) 調査・資料収集及び技術開発・研究開発などの調査研究事業
- (4) 資格認定及び表彰による学術評価事業
- (5) その他定款第3条の目的を達成するために必要な事業

1. 技術普及及び技術者育成などの教育事業

本事業を実施するために、次の委員会活動等を行った。

(1) 学術講演会運営委員会

学会の年次大会および空気調和・冷凍連合講演会等について以下の審議をした。

- 1) 2024 年度年次大会の進捗状況及び開催実績の確認
- 2) 2025 年度年次大会の進捗状況を確認
- 3) 空気調和・冷凍連合講演会の準備状況を確認

(2) 2024 年度日本冷凍空調学会年次大会実行委員会

- 1) 2024 年度の年次大会を企画・運営した。

開催日：9月4～6日、於 九州産業大学（福岡市）

名 称	発表論文数	開催日	開催地・会場	参加者数
2024 年度日本冷凍空調学会年次大会	219 編	9.4～6	九州産業大学	626 名

(昨年度発表論文数：180 編)

(昨年度参加者数 625 名)

- 2) 見学会 9月3日

「久留米の製氷機工場・ZEB 庁舎・酒蔵」

参加者数 33 名

- 3) 特別講演

「祈りのひとがた」 講師 中村 信喬（博多人形師）

(3) 2025 年度日本冷凍空調学会年次大会準備委員会

2025 年度の年次大会を企画した。

開催予定日：9月10～12日、会場：東京大学（東京都文京区）

(4) 事業委員会

各地区事業推進委員会と事業担当理事会と合同委員会を開催し、情報共有・意見交換を行った。

高圧ガス保安協会主催の第1種・第2種冷凍機械講習（映像集合教育）及び検定試験を受託し実施した。冷凍空調講習会等の定例講習会およびサイエンス講座を計画通り開催した。

(5) 事業委員会・各地区（北海道，東北，関東，中部，近畿，西日本）事業推進委員会

各地区の委員会にて、事業活動計画を立案し、講習会，セミナー等を開催した。

- 1) 北海道地区事業推進委員会

事業推進委員会を定期的に開催し，セミナー（1回）、施設見学会（1回）を実施した。

- 2) 東北地区事業推進委員会

事業推進委員会を定期的に開催し，施設見学会（1回）を実施した。

- 3) 関東地区事業推進委員会

定期的に委員会を開催し，新規セミナー（3回），アーカイブ配信（1回），施設見学会（2回）を実施した。

- 4) 中部地区事業推進委員会

事業推進委員会を定期的に開催し，初級講習会（2回），技術交流会（1回），セミナー（2回），施設見学会（1回）を開催した。

- 5) 近畿地区事業推進委員会

事業推進委員会を定期的に開催し，セミナー（3回）・講座（2回），シンポジウム（1回），施設見学会（1回）を開催した。

- 6) 西日本地区事業推進委員会

事業推進委員会を定期的に開催し，技術交流会（1回），セミナー（3回），施設見学会（2回）を企画・開催した。

各地区事業活動一覧表

① 技術交流会

名 称	発表 論文	開催日	会場	参加者数
第 18 回中部地区技術交流会冷凍・空調機の進化を支える圧縮機の最新技術～（中部地区事業推進委員会）	5	12.11	東桜会館 第二会議室	32
第 24 回 西日本地区技術交流会（西日本地区事業推進委員会）	6	9.4	九州産業大学 B 室	50

小計 82 名

（昨年度件数 2 件，参加者数小計 48 名）

② 定例講習会

No.	名 称	担当 委員会	開催日	会場	受講者数
1	冷凍空調入門講習会（出前講習，パナソニック向け）	事業	5.20, 6/4	大阪・梅田（5.20） 東京・押上（6/4）	65
2	冷凍空調入門講習会	事業	5.23	日本冷凍空調学会 会議室+オンライン （ライブ配信）	47
3	初級冷凍空調講習会 名古屋（冷凍編）	中部	8.1	ダイキン工業名古屋ビル 大会議室	17
4	初級冷凍空調講習会 名古屋（空調編）	中部	8.2	ダイキン工業名古屋ビル 大会議室	10
5	冷凍空調初級ガイダンス講習会	事業	8.7 ～8.8	日本冷凍空調学会 会議室+オンライン （ライブ配信）	24
6	第一種冷凍機械責任者資格取得講習会（出前講習，ダイキン工業向け）	事業	9.2 ～9.3	ダイキン工業 TIC	60
7	実用冷凍空調講座【冷凍編】～設計事例と冷凍システムの実務～	近畿	9.18 ～9.19	大阪公立大学 文化交流センター+オンライン （ライブ配信）	9
8	初級冷凍空調講習会（冷凍コース）	事業	10.14 ～10.27	オンライン （オンデマンド配信）	19
9	初級冷凍空調講習会（空調コース）	事業	10.14 ～10.27	オンライン （オンデマンド配信）	11
10	冷凍空調入門講習会（再配信）	事業	3.3 ～ 3.30	オンライン （オンデマンド配信）	18
11	サイエンス講座「冷媒の熱物性」	事業	3.10 ～3.23	オンライン （オンデマンド配信）	5
12	冷凍空調初級ガイダンス講習会（再配信）	事業	3.17 ～ 3.30	オンライン （オンデマンド配信）	24

小計 309 名

（昨年度件数 10 件，受講者数小計：289 名）

③ セミナー，シンポジウム

No	名 称	担当 委員会	開催日	会場	参加者数
1	さろんセミナー	近畿	4.4	大阪公立大学文化交流センター	19

2	最新技術セミナー【オンサイト & オンライン】2023年度省エネ大賞、技術の決め手はこれだ	近畿	4.25	大阪公立大学文化交流センター+オンライン (ライブ配信)	42
3	初心者向け冷凍食品セミナー	食品	6.28	ハイブリッド	17
4	【アーカイブ配信】最新の冷媒問題への対応と展望2023	関東	7.1 ~8.31	オンデマンド配信	4
5	西日本地区さろんセミナー『多様化する食のニーズにお応えするホシザキ』	西日本	8.9	ホシザキ北九(株)	27
6	【Web オンデマンドセミナー】冷凍・空調の実務	関東	10.15 ~ 11.15	オンデマンド配信	12
7	不凍タンパクの技術動向と市場展望	食品	10.31	オンライブ配信	21
8	2024年度近畿地区シンポジウムキガリ改正に対応する冷媒の国内外動向	近畿	11.6	大阪公立大学文化交流センター+オンライン (ライブ配信)	57
9	第20回 中国四国地区技術セミナー「環境・省エネルギー技術について」	西日本	11.11	岡山大学 大学院自然科学研究科棟+オンライン (ライブ配信)	38
10	特許機器株式会社 Tokyo Study Port~50年以上の技術データに基づいた体感・提案型展示施設~	関東	11.13	特許機器株式会社 Tokyo Study Port	7
11	最新の冷媒問題への対応と展望2024	関東	11.28	西早稲田キャンパス (+オンデマンド)	75
12	電気有効活用セミナー	北海道	2.4	日本電気協会北海道支部	21
13	高効率ヒートポンプセミナー~カーボンニュートラルに貢献する冷媒とシステムの最新動向~	中部	2.20	東桜会館	34
14	技術セミナー(西日本地区)気候変動への対応を推進する冷凍空調ヒートポンプ	西日本	2.27	株式会社九電工 福岡支店	23
15	ガスセミナー 最新の高効率ガス空調システム	近畿	3.14	大阪公立大学文化交流センター+オンライン (ライブ配信)	13

15件 小計410名
(昨年度開催件数:15件,参加者数小計:473名)

④ 見学会

No.	名称	担当委員会	開催日	会場	参加者数
1	SAGA サンライズパーク見学会	西日本	5.15	SAGA サンライズパーク	14
2	久留米の製氷機工場・ZEB庁舎・酒蔵の見学会	西日本	9.3	アイスマン(株)・久留米市環境部・池亀酒造	33
3	神戸液化水素荷役実証ターミナル+水素CGSスマートコミュニティ実証サイト	近畿	10.11	神戸空港島+ポータルイナー市民広場駅周辺	16

4	中日ビル・名古屋熱供給センター見学会	中部	10.24	中日ビル・名古屋熱供給センター	23
5	河村電機産業郡山工場見学会	東北	11.28	河村電機産業郡山工場	9
6	新菱冷熱工業イノベーションハブ	関東	3.18	茨城県つくばみらい市 富高砂熱学工業(株)	14
7	エア・ウォーターの森施設見学会	北海道	3.19	エア・ウォーターの森	17

7件, 小計 126名
(昨年度開催件数: 8件, 参加者数小計: 137名)

(6) 食品冷凍事業委員会

- 1) 食品冷凍技術推進機構 (FF-Tech) との教育事業の連携について本学会理事会で承認を得た。
- 2) 新規セミナー2件「不凍タンパクの技術動向と市場展望」「食品のテクスチャー評価」を実施。
- 3) 定例の初心者向け冷凍食品セミナーと食品冷凍技士準備講習会を開催した。

(7) 出版事業委員会

- 1) 刊行図書
 - ① 試験問題と解答例 (令和5年度問題編入版) を発行した。
 - ② 専門書「冷蔵倉庫」「冷凍空調手帳 (改訂版)」「冷媒の凝縮」「食品冷凍技術」(各 500部) を増刷発行した。 ※現在の価格に対し 15%の金額を加算, 価格改訂も行った。
- 2) 学会プレゼンスの向上
 - ① 「冷媒の沸騰・蒸発」の発刊スケジュールを検討し, 2025年度内の発行延期を決定した。
 - ② KHK 講習会テキストの販売減への課題と対策として販売減の理由を分析するために販売データ等を整理した。対策として, KHK と協議し 2025年1月中旬より KHK でもテキスト販売を実施, 講習会の案内とともに, 直接テキストの購入へと促す事で売上減の対策とした。
 - ③ 出版物の販売促進と在庫の整理について, 書籍の電子化等, 検討継続中である。

(8) 冷凍技士運営委員会

- 1) Newsletter No. 45 (9月) No. 46 (3月) の発行の他, 技士研修会や他団体との共催行事の実施に向けて検討を行った。
- 2) 冷凍技士研修会の実施

NO	名称	開催日	会場	参加者数
1	第58回冷凍技士研修会 「EHEDG 認定 食品機械洗浄性評価試験所」	6.21	(一財) 日本食品分析センター 多摩研究所 衛生科学センター	13
2	第59回冷凍技士研修会 年次大会 「技士セミナー」	9.5	九州工業大学	14
3	冷凍技士運営委員会・冷凍食品技術研究会 (西日本) 共催企画 「人手不足解消の3つの対策が分かる! ~食品製造現場におけるサステナブルな 生産体制構築とは~」 (食品工場等における省人化設備の導入事例)	11.13	大阪コロナホテル	20
4	第60回技士研修会【施設見学会】 「前川製作所 守谷工場」	2.6	(株)前川製作所 守谷工場	21

小計 68名
(昨年度開催件数: 4件, 参加者数小計: 68名)

3) 技士登録者数

種 別	2024 年度新規	2025 年 3 月 31 日現在 ()内は 2024 年 3 月 31 日時点
冷凍空調技士 第一種	35	1,126 (1,170)
第二種	35	756 (777)
食品冷凍技士	12	216 (225)
合 計	82	2,098 (2,172)

(9) 若手技術者研修会企画委員会

7月26日(金)に中部電力(株)浜岡原子力発電所にて技術交流会と見学を実施した。
15名参加

(10) 通信教育委員会

初級冷凍空調講座の添削指導の実施(6~10月・10~2月の年2回)と新規問題のブラッシュアップを主として行った。

- ・ 6月コース 期間(6~10月) 受講者 56名 修了者 38名(内 優秀者 11名)
- ・ 10月コース 期間(10~2月) 受講者 51名 修了者 41名(内 優秀者 16名)
(昨年度受講者 6月コース:34名, 10月コース 92名)

(11) 広報委員会

- 1) 公益社団法人としての学会活動 PR の強化を目的とし、一般向けホームページと会員専用ページを随時更新した。また、トップページでバナー広告を募集した。
- 2) 定期的に或いは必要に応じて随時メールマガジンを配信した。
- 3) 広報の情報発信力の強化と信頼性向上に向けて、学会情報システムの更新を検討し、順次推進中である。
- 4) プレスミーティングを9月5日に九州産業大学(年次大会枠内)で開催。報道関係5社参加。100周年事業の予告をメインに報告。

(12) 100周年事業委員会・事業実行委員会

- 1) 実行委員会を4回開催し、4月号学会誌で学会100周年を告知、9月の記念式典開催(年次大会との共催)、「日本冷凍史 2025」の出版、記念品の配布、入会キャンペーン、特別見学会などを実施することを決定した。
- 2) 技術伝承・普及部門委員会を6回開催し、「日本冷凍史 2025」の出版に向けて、大学、企業等から90名ほどの方に執筆を依頼、2024年末に原稿が出揃い、校正作業を実施、4月末に校正完了、5月から印刷開始、6月に刊行予定。並行して予約購入申込受付も開始した。

(13) 各種講習会及び検定試験

冷凍機械講習、技術検定試験(東京)及び冷凍空調技士受験準備講習会、資格検定試験(東京・名古屋・大阪・福岡)を実施した。

1) 第一種冷凍機械講習、第二種冷凍機械講習および検定試験

① 第二種冷凍機械講習

No.	名 称	開催日	会 場	受講者数
1	第二種冷凍機械講習(前期)	6.4~6.6	日本冷凍空調学会 会議室	3

総受講者数 3 名
(昨年度総受講者数 4 名)

② 第一種、第二種冷凍機械講習技術検定試験

No.	名 称	開催日	会 場	受検者数
1	第一種冷凍機械講習技術検定試験	5. 26	東京 早稲田大学 (西早稲田)	421
2	第二種冷凍機械講習技術検定試験	7. 30	東京 早稲田大学 (西早稲田)	134
3	第二種冷凍機械講習技術検定試験	2. 23	東京 日本大学 (タワースコラ)	112

総受検者数 667 名
(昨年度総受検者数 557 名)

2) 冷凍空調技士受験準備講習会および食品冷凍講習会, 資格検定試験

① 冷凍空調技士受験準備講習会, 食品冷凍講習会

No.	名 称	開催日	会 場	受講者数
1	冷凍空調技士受験準備講習会(WEB)	2. 1~2. 15	オンライン (オンデマンド配信)	69
2	食品冷凍講習会 (WEB)	1. 15~2. 15	オンライン (オンデマンド配信)	19

総受講者数 88 名
(昨年度総受講者 102 名)

②資格検定試験

NO.	名 称	開催日	場 所	受験者数 () は受験申込者数			
				第一種	第二種	食品	合計
1	冷凍空調技士 食品冷凍技士	2/16	東 京	25 (34)	89 (100)	12 (16)	126 (150)
2			名古屋	19 (29)	21 (22)	0 (0)	40 (51)
3			大 阪	16 (23)	28 (35)	7 (8)	51 (66)
4			福 岡	10 (14)	22 (27)	1 (1)	33 (42)
			合 計	70 (100)	160 (184)	20 (25)	250 (309)

総受験者数 250 名 (昨年総受験者数 229 名)

2. 国際冷凍学会などとの連携・協力による国際交流事業

本事業を実施するために、次の委員会活動等を行った。

(1) 国際委員会

下記の活動を実施した。

- 1) 海外関連学会との連携強化として、イタリア冷凍空調学会 (AiCARR) と MoU を締結し、相互交流を開始した。(2024 年 5 月 3 日締結)
- 2) SAREK2024(韓国 6 月 18~20 日)に佐々木副会長が参加し、基調講演を行った。
- 3) ERAC2024(台湾 10 月 26 日)に齋藤会長が TSHRAE からの招待により参加、学会長としてオープニングスピーチを行った。
- 4) 海外関連学会との連携強化として、インド暖房冷凍空調学会 (ISHRAE) と MoU を締結し、相互交流を開始した。(2025 年 3 月 19 日締結)

(2) 国際委員会・IIR 日本国内分科会

- 1) IIR 各種委員会に山口委員が現地パリにて出席した。(2024 年 6 月 5~7 日) PSC, MC Meeting (5 日), STC Meeting (6 日), EC Meeting (7 日)
- 2) IIR 各種委員会に山口委員がオンラインで出席した。(2025 年 2 月 19~21 日) STC, PSC Meeting (19 日), STC-MC Meeting (20 日), MC, STC-MC Meeting (21 日)

(3) 国際委員会・ASHRAE 日本国内分科会

- 1) オーランドで開催された ASHRAE Winter Conference (2024 年 2 月 8 日～12 日) に宮良委員が参加し、期間中に開催された AASA 会議に参加した。

(4) 国際委員会・アジア関連学会連携分科会

- 1) CAR が主催した CAR-ASHRAE 技術交流会 (4 月 7 日) に宮良委員が出席し、JSRAE の活動を報告した。4 月 8 日～10 日に開催された制冷展に参加した。
- 2) 韓国で開催された SAREK Summer Conference (6 月 19 日～21 日) に佐々木副会長を派遣した。なお、派遣対象学生に連絡したが、派遣には至らなかった。
- 3) 九州産業大学で開催した年次大会 (9 月 4 日～6 日) に際し、CAR, SAREK, TSHRAE に参加案内を依頼し、各学会から学生や教員が参加した。また、年次大会に参加した CAR, SAREK, TSHRAE の代表者と情報交換を行った。
- 4) 台湾台中市で開催された TSHRAE Annual Conference (10 月 24 日～27 日) に学生 2 名を選出して派遣した。また、佐々木副会長が参加し、講演を行った。

(5) ICCC2024 (International Conference on Sustainability and the Cold Chain) 実行委員会

- 1) 国際会議 ICCC2024 を企画・運営し、3 日間の会議と翌日の Factory tour を実施した。

開催日：6 月 9～11, 於 早稲田大学国際会議場

名 称	発表論文数	開催日	開催地・会場	参加者数
International Conference on Sustainability and the Cold Chain (ICCC2024)	91 編	6.9～11	早稲田大学国際会議場	150 名

(うち学生 44 名, 19 か国)

- 2) テクニカルツアー 6 月 12 日

- ・ハウスイ 豊洲市場 -60℃冷蔵倉庫
- ・山手冷蔵京浜ロジスティックセンター
- ・東京海洋大学練習船「神鷹丸」
- ・早稲田大学 齋藤研究室

3. 調査・資料収集及び技術開発・研究開発などの調査研究事業

本事業を実施するために、次の委員会活動等を行った。

(1) 規格制定委員会

- 1) JIS 見直し検討 (冷媒用圧縮機の定格温度条件 JISB86002021、冷媒用圧縮機の試験方法 JISB86062021 を行った。
- 2) コールドチェーン物流の国際標準化にむけた ISO/TC315 について、日本規格協会へヒアリングを実施した。(2024 年 8 月 27 日)

(2) ISO TC86 国内分科会

- ・ISO TC86 国内分科会を 2 回 (2024 年 7 月, 2025 年 2 月) 開催し、ISO の審議状況報告と主査交代の検討を開始した。
- ・ISO TC86/SC1/WG1 の会議を 4 月に東京で開催し、ISO5149-1, 2, 3 の DIS ドラフトのとりまとめ、可燃性冷媒に関する制限の内容、記載方法の変更の検討を行った。
- ・その後、ISO TC86/SC1/WG1 の会議 (2 月) で、ISO5149 の DIS 投票の秘訣を受けて、対応の審議を行った。
- ・ISO/TC86/SC8/MA の TF 会議 (6 月, 2 月) に参加して、冷媒の安全性等級の議論を行った。

(3) 保安委員会

新冷媒評価委員会への 2 回の参加, それに伴う冷媒定数標準値に関するメール審議を 1 回開催し、以下の協議を実施した。

- 1) 新冷媒評価委員会に提出された新冷媒申請に対して冷媒定数標準値の算定の確定を行った。
- 2) 高压ガス保安協会評議員会に出席し、高压ガス保安協会の収支、活動報告内容を確認した。

(4) 新冷媒評価委員会

委員会を2回(4月,10月)開催し,以下の協議を行った。

- 1) 新冷媒評価委員会を開催し,1件の新冷媒申請を受理し可燃性区分等の評価を行った。さらに,評価を完了した新冷媒評価結果については,①新冷媒の加害性区分②FC容器の種別判定③冷媒定数の標準値をホームページに公開した。
- 2) 検証ガスの測定日の規定について審議した。次回以降の申請に際して,「検証ガスの検証試験と申請ガスの試験実施日は大きく離れない(1年以内)こと」と条件に付加することにした。

(5) 温暖化問題等対策検討委員会

委員会としてWGの活動を支援した。特に冷媒回収・再生冷媒に関する調査活動を推進した。

- 1) 再生冷媒の普及に向けて,冷媒価格動向,冷媒管理,冷媒容器などに関する検討を実施した。
- 2) 冷媒容器管理システム調査研究プロジェクト活動の継続。
学術研究機関所属研究委員4名,参加企業13社によるプロジェクト活動が引き続き実行された。
- 3) 経済産業省との意見交換会を行った。

(6) カーボンニュートラル2050委員会

- 1) 委員会を4回開催し,各テーマの進捗状況確認およびまとめを行った。
- 2) 国際技術セミナー(Cemafroid社(仏)主催)にて委員会成果を紹介した。
- 3) 政策提言,報告書のとりまとめを行った。
 - ・ヒートポンプに関する提言(日本機械学会)
 - ・蓄熱応用・ヒートポンプに関する提言・報告書(日本機械学会)
 - ・第7次エネルギー基本計画,地球温暖化対策計画への提言採用・共有

(7) 冷凍空調技術委員会

昨年度に続き学術・編集担当理事会開催時に,本委員会に属する各委員会委員長からの進捗報告を集約し,担当理事会で報告する仕組みの運用を継続した。

各技術委員会の活動報告は下記のとおりである。

- 1) 食品技術委員会
 - ・年次大会においてオーガナイズドセッション「食品および生物に関する低温利用技術」を企画した。
- 2) 冷媒技術委員会
 - ・年次大会で「冷媒の熱物性」セッションを主催した。
 - ・R23代替冷媒に関する調査研究プロジェクトを,本委員会の委員が中心になって活動を行った。
- 3) 圧縮機技術委員会
 - ・年次大会において,圧縮機セミナーとオーガナイズドセッション「圧縮機の最新技術と将来展望」を企画開催した。
 - ・「日本冷凍史」に関わる原稿執筆,校正を行った。
- 4) 熱交換器技術委員会
 - ・産学連携の調査研究プロジェクト「カーボンニュートラルに向けた先進熱交換器技術に関する調査研究」の開催に合わせて,4回の幹事会,委員会を開催した。
 - ・年次大会(2024年9月開催)においてWSでの基調講演1件,招待講演10件の開催,OSでの基調講演1件,一般講演33件の企画運営を行った。
- 5) 次世代冷凍システム技術委員会
 - ・年次大会において下記企画を行い実施した。
OS「次世代冷凍・ヒートポンプ技術」において,九州大学 菅野優美教授による基調講演「量子エンタングルメントと宇宙論」を実施した。(新技術調査WG活動の一環として)
 - ・100周年事業実行委員会 技術伝承・普及部門委員会において,当委員会担当の「冷凍空調機器類等」の原稿執筆担当割り当てのため,読み合わせを含む一次校正作業を実施した。

- 6) デシカント・吸着・吸収・化学系技術委員会
- ・2024年度年次大会にて、OS「デシカント・吸着・吸収・ケミカル系の技術」およびWS「カーボンニュートラルに貢献する熱駆動系技術とその応用」を開催した。
 - OSでは21件、WSでは基調講演1件、依頼講演3件の講演がなされた。
 - 7月29日セミナー「熱で動く冷凍空調技術の基礎と応用」を早稲田大学にて開催し、22名の参加者（除：セミナー講師、技術委員会委員）があった。
 - 2025年3月7日見学会「高砂熱学工業株式会社 高砂熱学イノベーションセンター 講演・見学会」を開催し、15名の参加者があった。
- 7) 自然冷媒冷凍空調システム技術委員会
- ・自然冷媒システム調査研究プロジェクトにおいて施設見学や講演会を開催した。
 - ・年次大会において、ワークショップを企画運営した。
- 8) 着霜・除霜系技術委員会
- ・着霜・除霜評価方法および設計・操作指針の整備に向けた情報収集を行い、委員会を開催した。（2024年9月4日）
 - ・会員および空調技術者・設計担当者への関連情報の提供を目的に、研究会を開催した。（2024年7月26日 日本キャリア様 藤事業所にて着霜・除霜研究会を開催）
 - ・2024年度年次大会において、オーガナイズドセッション「霜雪氷の諸現象と利用技術」を開催し、3セッションで11講演を実施した。
 - ・2025年度年次大会のオーガナイズドセッション「霜雪氷の諸現象と利用技術」が企画され、オーガナイザが選出された。
- 9) 調査研究プロジェクト
- ① カーボンニュートラルに向けた先進熱交換技術に関する調査研究プロジェクト
 - ・官学側幹事20名、企業側委員21名（19社）、企業側委員で熱交換器技術委員会委員の方（8社）には幹事に就任いただいた。
 - ・本調査研究では、先進熱交換技術に関して研究者側委員と特別講師による最新研究動向の提供・情報発信を行い、さらに討議により熱交換技術の方向性などを検討した。
 - ・調査研究の委員会は4回開催し、話題提供を目的とした講演会、国際会議報告、さらには見学会、意見交換会を行った。
 - ② 自然冷媒システム調査研究プロジェクト
 - ・参加企業10社、学術研究機関委員9名による調査研究を行った。
 - ・6月、9月、11月、3月に委員会を開催した。
 - ③ R23代替冷媒に関する調査研究プロジェクト
 - ・参加企業13社、学術研究機関委員6名による調査研究を行った。
 - ・6月、9月、12月、3月に委員会を開催した。
 - ④ 冷媒容器管理システム調査研究プロジェクト
 - ・参加企業13社（21名）、学術研究機関委員4名による調査研究を行った。
 - ・2024年度内において7回の全体会議とメール審議、幹事会を適宜開催。

(8) 学会誌編集委員会

- 1) 学会誌「冷凍」・2024年度11冊を発行した。
 - ・Vol.99 No.1153～1161, Vol.100 No.1162～1163
 - 発行部数：25,105部、総ページ数：570ページ（本文）
 - ・10回の特集を実施した。

4. 資格認定及び表彰による学術評価事業

本事業を実施するために、次の委員会活動等を行った。

- (1) 冷凍空調技士考査委員会および試験分科会
 - 2024年度の冷凍空調技士試験用の問題を作成し、冷凍空調技士試験を実施した。
- (2) 食品冷凍技士考査委員会および試験分科会

2024年度の食品冷凍技士試験用の問題を作成し、食品冷凍技士試験を実施した。

(3) 論文集編集委員会

2024年度中に4冊を発行した。(Vol. 41, No. 2~4, Vol. 42, No. 1)

発行部数：1,455部、総ページ数：356ページ、掲載論文数：32編

(4) 論文集編集委員会・論文集運営推進検討分科会

1) 掲載後1年経過した論文 Vol. 40, No. 2-4, Vol. 41, No. 1 を J-STAGE に公開した。

2) 論文投稿規程を改定し、クリエイティブ・コモンズ CC BY-NC-ND 4.0 国際ライセンスを導入した。このライセンスに従い適切なクレジットを表示する限りにおいて、改変されていない記事を非営利目的でのみ共有することを許可することとする。

(5) 学会賞選考委員会

学術賞、技術賞、研究奨励賞、優秀講演賞、会長奨励賞の審議、決定、理事会への上程を行った。

なお、会長奨励賞以外の授賞候補者選考は、各分科会が以下の活動にて行った。

1) 学術賞分科会

学会賞選考委員会内規に基づいて、2024年刊行の日本冷凍空調学会論文集 Vol. 41, No. 1~4 に掲載された論文を厳正審査し、学術賞候補として2件を選定した。

また、研究奨励賞に応募があった業績を厳正審査し、2件を学会賞選考委員会に上程した。

2) 技術賞分科会

学会誌、学会ホームページおよびメールマガジンによる公募行い、2件の応募があった。応募書類の審査及び実機審査に基づき技術賞候補を決定し、2件の受賞候補を学会賞選考委員会に上程した。

3) 優秀講演賞分科会

2024年度年次大会で発表された講演219件のうち年齢35歳未満の77名を審査対象とし、厳正なる審査の結果、授賞候補者7名を決定し、学会賞選考委員会に上程した。

令和6年度日本冷凍空調学会賞は以下の通り

《学術賞》

No.	論文名	受賞者名	掲載論文集
1	CO2/プロパン混合系の燃焼特性評価	滝澤 賢二	日本冷凍空調学会論文集 Vol. 41, No. 4 (2024), pp. 359-367.
2	電気自動車熱管理システムの研究開発 -第1報：システムの考案と除霜暖房モードの性能分析- -第2報：デシカント塗布熱交換器の性能試験と空調システム性能予測-	第1報, 第2報：張 莉・東 朋寛 ・齋川 路之 第2報：西嶋 春幸	日本冷凍空調学会論文集 Vol. 41, No. 3 (2024), pp. 251-263, pp. 265-277.

《技術賞》

No.	件名	受賞会社名	受賞者名
1	低GWPのHF0-1234yfを採用した大容量ターボ冷凍機 JHT-Y/JHT-YI シリーズ	三菱重工サーマルシステムズ(株)	松倉 紀行・下川 真琴・深澤 和馬
2	バイタルセンサー「エモコアイ」を搭載したルームエアコン「霧ヶ峰 Z シリーズ」	三菱電機(株)	岡崎 淳一

《研究奨励賞》

No.	業績名	受賞者名	所属
1	EXPERIMENTS ON CONDENSATION HEAT TRANSFER COEFFICIENT OF R454A IN A CIRCULAR MULTIPORT TUBE	野上 大河	東京海洋大学大学院
2	不均一熱負荷並列微細流路の沸騰熱伝達および流量変動現象に関する研究	黒瀬 築	横浜国立大学

《優秀講演賞》

No.	論文名	受賞者名	所属
1	Theoretical Prediction of Speed of Sound for Binary Refrigerant Pairs: R-134a/245fa and R-125/245fa	Alaa M. A. ITAIWI	九州大学大学院
2	非共沸混合冷媒の沸騰開始過熱度の評価	赤井 彰太	神戸大学大学院
3	低温蓄冷用エマルション生成方法に関する検討	藤本 真太郎	岡山大学大学院
4	HF0-1123/CO2 の固液平衡特性および低温用カスケードサイクルに用いた場合の性能評価	小川 康太	長崎大学大学院
5	VOF 法と相変化モデルによる平板上結露に関する数値流体シミュレーション	黒瀬 築	横浜国立大学
6	低 GWP 冷媒 R1132(E) の音速測定	西橋 奏子	(国研)産業技術総合研究所
7	金属積層造形で製作した小型・軽量な熱交換器の特性評価	齋藤 慎平	(国研)産業技術総合研究所

《会長奨励賞》

No.	業績名	受賞者名	所属
1	Determination of the speed of sound in lubricants and their mixtures with refrigerants: Experimental and theoretical developments	Isha SAMEEN	九州大学大学院
2	温度差発電を活用した熱エネルギーの高効率利用	武内 知也	電気通信大学大学院
3	積層マイクロチャンネル熱交換器を用いた地中熱ヒートポンプシステムの性能評価	野口 凌吾	東京海洋大学大学院
4	ヒートポンプの動的運転挙動の究明と性能向上に関する研究	水野 亜杜	早稲田大学大学院
5	熱交換器の性能解析用大規模 3 次元数値シミュレーション	植田 隆太郎	福井大学大学院

(6) アジア学術賞 (AAA) 選考委員会

JSRAE が推薦するアジア学術賞を審議中。決定次第、学術・編集担当理事会に上程する。

CAR 推薦および SAREK 推薦については、それぞれの会長より、以下のとおり報告があった。

《アジア学術賞 (JSRAE 推薦)》

No.	業績名	受賞者名	所属
	審議中	審議中	

《アジア学術賞 (CAR 推薦)》

No.	業績名	受賞者名	所属
1	論文「Pioneering work on demand-oriented non-uniform indoor environment, and grades of sensible and latent load for year-round energy-efficient air conditioning system」における、卓越した学術研究	Li Xianting	Tsinghua University

《アジア学術賞 (SAREK 推薦)》

No.	業績名	受賞者名	所属
1	論文「Object tracking based droplet characterization of high flowrate electrospray」を含む、冷凍空調分野の卓越した学術研究	Minsung Kim	Chung-Ang University

(7) 著作権委員会

- ・出版物やホームページに掲載される論文等の著作物の利用許諾やその著作権に係る事項の審議を行った。3件の転載許諾申請があった。
- ・日本冷凍空調学会論文集の論文は、今後 Creative Commons License に従うことになることから、書籍やテキストを対象としている著作物利用許諾ガイドラインを論文には適用しないことを明記することとした。

(8) 継続教育センター

日本工学会 CPD 協議会 CPD プログラム委員会に出席し、情報共有を行った (2回)。

(9) 冷凍装置検査員の推薦申請

高圧ガス保安協会へ次の通り申請を行った。

- ・冷凍装置検査員 6名

これらの内、第一種冷凍空調技士登録者で申請した者は6名である。

(10) 冷凍機器溶接士の申請

高圧ガス保安協会へ、新規14名、更新27名、合計41名の申請を行った。

5. 学会運営並びに理事会直轄委員会

本事業をより発展的に実施するために、次の委員会活動等を行った。

(1) 戦略会議

- ・100周年を契機とした新たな戦略会議体制検討を行った。
- ・学会収支改善のため、地方訪問を伴う活動等を縮小した。令和7年度では、検討内容を政策委員会とも協議し、活動を行う。

(2) 政策委員会

政策委員会を4回開催し、以下の活動を行った。

- 1) 学会強化内容の検討。100周年を契機としたキャッチコピー名称検討。
- 2) 学会員縮小対策キャンペーンとして、100周年記念入会キャンペーンを企画、実施。
- 3) 研究支援制度の検討。100周年記念事業として継続検討。
- 4) 政府の第7次エネルギー基本計画への意見提出。

(3) 代表会員選挙管理委員会

- 1) 2024年4月理事会にて、「代表会員選挙管理委員会」が設置され、3名の委員を選任した。
- 2) 次期代表会員選出にあたって、7月から立候補受付、10月理事会にて、立候補者の無投票当選を報告した。
- 3) 2025年1月に代表会員による会長候補者選挙を実施し、候補者が決定した。

(4) その他

- 1) 2024年度中に依頼を受けた主な協賛、共催、後援名義使用について

NO.	協賛 共催	依頼団体	行事名	開催日
1	協賛(公社)	低温工学・超電導学会	第107回 2024年度春季低温工学・超電導学会研究発表会	2024.5.23~25
2	協賛(一社)	日本機械学会	講習会「流体力学基礎講座 -基礎学理から数値流体力学・流体計測の基礎と実例まで-	2024.6.20~21
3	協賛	日本熱測定学会	熱測定講習会 2024	2024.6月~8月 (全4回)
4	協賛(一財)	ヒートポンプ・蓄熱センター	ヒートポンプ蓄熱月間	2024.7.1~31
5	協賛(一社)	食品冷凍技術推進機構	食品冷凍技術基礎セミナー	2024.7.16 2024.10.23

NO.	協賛 共催 依 頼 団 体	行 事 名	開催日
6	協賛(公社) 空気調和・衛生工学会	令和6年度 技術講演会(東京)「ウェルビーイング・ウェルネスの最前線」	2024. 7. 24
7	協賛日本ヒートアイランド学会	熱中症予防対策に関するシンポジウム	2024. 7. 30
8	協賛(一財) ヒートポンプ・蓄熱センター	令和6年度「電気需要最適化・省エネルギー社会実現セミナー」および「蓄熱技術研修会」	2024. 7 月 ～2025 年 2 月
9	協賛(一社) 日本エネルギー学会	第33回日本エネルギー学会	2024. 8. 7～9
10	後援(一社) 大日本水産会	第26回「ジャパンインターナショナルシーフードショー」	2024. 8. 21～23
11	協賛(一社) 食品冷凍技術推進機構	第45回食品冷凍技術懇談会	2024. 8. 26
12	協賛(一社) 日本機械学会	講習会「実験流体力学 流体計測の基礎」	2024. 8. 28
13	協賛(一社) 日本エレクトロヒートセンター	JEHC カーボンニュートラル支援講座 (WEB セミナー)	2024. 8 月 ～2025. 2 月 (全4回)
14	協賛 大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム	公開シンポジウム 一夏の暑さ対策と省エネ・カーボンニュートラルについて考えるー	2024. 9. 4
15	協賛(一社) 日本機械学会	「伝熱工学資料(改訂第5版)」の内容を教材にした熱設計の基礎と応用	2024. 9. 12～13
16	協賛日本熱測定学会	第60回熱測定討論会	2024. 9. 26～28
17	協賛日本ヒートアイランド学会	日本ヒートアイランド学会第19回全国大会	2024. 9. 27～29
18	協賛(一社) 日本機械学会	熱工学コンファレンス2024	2024. 10. 5～6
19	協賛日本銅学会	第64回講演大会	2024. 10. 18～20
20	後援(一社) 日本機械学会	第17回新☆エネルギーコンテスト	2024. 10. 19
21	後援水・蒸気性質協会	水・蒸気性質シンポジウム (JPAPW2024)	2024. 10. 22
22	協賛(一社) 食品冷凍技術推進機構	食品冷凍品質保証基礎セミナー	2024. 10. 23
23	協賛(一社) 日本機械学会	No. 24-99 講習会「プラントの熱流体力学 - 混相流・配管流れ・安全設計 -」	2024. 10. 24
24	協賛日本熱物性学会	第45回日本熱物性シンポジウム	2024. 10. 28～30
25	協賛(一社) 日本機械学会	2024年度計算力学技術者(CAE技術者)資格認定事業	2024. 10 月～12 月
26	協賛(一社) 日本エレクトロヒートセンター	第19回エレクトロヒートシンポジウム	2024. 11. 1～30
27	協賛(一社) 日本機械学会関西支部	第394回講習会 実務者のための流体解析技術の基礎と応用	2024. 11. 12～13
28	後援(一社) 日本建築学会	第20回建築設備シンポジウム「環境建築と五感に訴えるリジェネラティブデザイン」	2024. 11. 22
29	協賛(公社) 低温工学・超電導学会	第108回 2024年度秋季 低温工学・超電導学会研究発表会	2024. 11. 25～27
30	協賛日本潜熱工学会	第13回潜熱工学シンポジウム	2024. 11. 28～29
31	協賛(一社) 日本機械学会関西支部	ステップアップ・セミナー2024「技術者によるAI活用と関わり方」	2024. 11. 29
32	協賛(公社) 日本工学会	2024年度第1回CPD協議会公開シンポジウム～科学と社会をつなぐ技術者の役割～	2024. 12. 12
33	協賛(一社) 日本機械学会	第26回スターリングサイクルシンポジウム	2024. 12. 14
34	協賛(一社) 食品冷凍技術推進機構 (FF Tech)	食品冷凍基礎技術実習	2024. 12. 19

NO.	協賛 共催 依 頼 団 体	行 事 名	開催日
35	協賛 (公社) 化学工学会、(公社) 日本顕微鏡学会	共通基盤技術シンポジウム 2025 ～クライオ電子顕微鏡技術を活用した液状材料・プロセス研究の新展開～	2025. 1. 10
36	協賛(一社) 日本機械学会関西支部	第 396 回講習会 実務者のための振動基礎と制振・制御技術	2025. 1. 20～21
37	協賛再生可能エネルギー協議会	第 19 回再生可能エネルギー世界展示会及びフォーラム	2025. 1. 20～31
38	協賛(公社) 日本材料学会	腐食防食部門委員会第 358 回例会	2025. 1. 23
39	協賛 (一社) 食品冷凍技術推進機構 (FF Tech)	食品冷凍技術基礎セミナー、食品冷凍品質保証基礎セミナー	2025. 1. 23
40	協賛(一財) 省エネルギーセンター	ENEX2025 「第 49 回地球環境とエネルギーの調和展」	2025. 1. 29～31
41	後援(一社) 大日本水産会	第 22 回「シーフードショー大阪」	2025. 2. 19～20
42	協賛(一社) 日本機械学会	講習会 No. 25-16 機械学習×熱・流体工学の最先端	2025. 2. 28
43	協賛(公社) 日本工学会	第 6 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム	2025. 3. 4
44	(一社) 日本設備設計事務所協 協賛会連合会、(一社) 電気設備学 会	令和 7 年建築設備士第一次・第二次試験受験準備講習会	2025. 4 月～7 月
45	協賛(公社) 日本空気清浄協会	第 42 回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会	2025. 4. 22～23
46	協賛(公社) 日本伝熱学会	第 62 回日本伝熱シンポジウム、HTSJ 国際伝熱シンポジウム	2025. 5. 14～17
47	協賛(株) 食品化学新聞社	ifia JAPAN 2025 および HFE JAPAN 2025	2025. 5. 21～23
48	協賛(公社) 日本材料学会	腐食防食部門委員会 第 360 回例会	2025. 5. 27
49	協賛(公社) 低温工学・超電導学会	第 109 回 2025 年度春季低温工学・超電導学会研究発表会	2025. 5. 28～30
50	後援日本水・蒸気性質協会	水・蒸気性質シンポジウム 2025	2025. 6. 2
51	協賛 Italian Association for Air Conditioning, Heating, Refrigeration	CLIMA 2025	2025. 6. 4～6
52	協賛(一社) 日本機械学会	第 29 回動力・エネルギー技術シンポジウム	2025. 6. 5～6
53	協賛(西安交通大学、Chinese Association of Refrigeration (CAR), China Refrigeration and Air-Conditioning Industry Association (CRAA)	The 10th International Conference on Compressors and Refrigeration, 2025	2025. 7. 9～11
54	協賛(一社) 日本機械学会	環境工学ワークショップ 2025 (IWEE2025) & 第 35 回環境工学総合シンポジウム 2025	2025. 7. 18～21
55	協賛(一社) 日本エネルギー学会	第 34 回日本エネルギー学会大会	2025. 8. 6～8
56	協賛(公社) 日本伝熱学会関西支部	第 18 回関西伝熱セミナー in 和歌山「グリーントランスフォーメーションとエネルギー技術」	2025. 8. 29～30
57	協賛日本混相流学会	混相流シンポジウム 2025	2025. 9. 3～5
58	協賛(一社) 日本非破壊検査協会	先進赤外線計測技術と応用に関する国際シンポジウム (AITA 2025)	2025. 9. 15～19

2) 2024 年度中に共催、後援、協賛をいただいた開催行事

NO.	行 事 名	依 頼 団 体	開 催 日
1	最新技術セミナー【オンサイト&オンライン】2023 年度省エネ大賞, 技術の決め手はこれだ!	協賛 (一財) 省エネルギーセンター	2024. 4. 25
2	冷凍空調入門講習会	協賛 (一社) 日本冷凍空調設備工業連合会	2024. 5. 23
3	熱で動く冷凍空調技術の基礎と応用	協 賛(一社) 日本機械学会, (公社) 空気調和・衛生工学会, (公社) 化学工学会, (一財) ヒートポンプ・蓄熱センター	2024. 7. 29
4	冷凍空調初級ガイダンス講習会	協賛 (一社) 日本冷凍空調設備工業連合会	2024. 8. 7~ 8. 8
5	2024 年度日本冷凍空調学会 年次大会	協賛：(一社)エネルギー・資源学会, (公社) 化学工学会, (一社)近畿冷凍空調工業会, (公社) 空気調和・衛生工学会, (一社) 建築設備技術者協会, 高圧ガス保安協会, (一財)省エネルギーセンター, (一社) 中部冷凍空調設備協会, (公社) 低温工学・超電導学会, 低温生物工学会, (一社) 西日本冷凍空調工業会, (一社) 日本エネルギー学会, (一社) 日本機械学会, (公社) 日本技術士会, (一社) 日本建築学会, 日本混相流学会, (公社) 日本食品科学工学会, (一社) 日本食品工学会, (一社) 日本食品保蔵科学会, (公社) 日本水産学会, 日本潜熱工学会, (一社) 日本太陽エネルギー学会, (公社) 日本畜産学会, (一社) 日本調理科学会, (公社) 日本伝熱学会, 日本熱物性学会, (公社) 日本農芸化学会, 日本ヒートアイランド学会, (一社) 日本冷凍空調工業会, (一社) 日本冷凍空調設備工業連合会, (一社) 日本冷凍食品協会, (一財) ヒートポンプ・蓄熱センター, アメリカ暖房冷凍空調学会, 大韓設備工学会, 中国制冷学会, 台湾冷凍空調学会	2024. 9. 3 ~9. 6
6	初級冷凍空調講習会 (冷凍コース・空調コース)	協賛 (一社) 日本冷凍空調設備工業連合会	2024. 10. 14 ~ 10. 27
7	第 20 回中国四国地区技術セミナー 「環境・省エネルギー技術について」	共催 熱エネルギー有効利用研究会	2024. 11. 11
9	最新の冷媒問題への対応と展望 2024	協 賛(公社) 空気調和・衛生工学会, (一社) 日本冷凍空調工業会, (一社) 日本冷凍空調設備工業連合会, (一財) 日本冷媒・環境保全機構	2024. 11. 28
10	食品冷凍講習会	共催 冷凍食品技術研究会(西日本) 協賛 (一社) 日本冷凍食品協会, (一社) 日本食品機械工業会	2025. 1. 15 ~2. 15
11	冷凍空調技士受験準備講習会	協賛 (一社) 日本冷凍空調設備工業連合会	2025. 2. 1 ~2. 15

令和6年度 決算報告

貸借対照表

令和7年3月31日 現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	87,053,022	83,452,118	3,600,904
売掛金	2,744,017	4,706,076	△ 1,962,059
未収会費	987,576	1,194,789	△ 207,213
未収金	545,441	1,287,082	△ 741,641
販売図書	27,830,779	25,741,248	2,089,531
仮払金	1,370,774	1,512,732	△ 141,958
流動資産合計	120,531,609	117,894,045	2,637,564
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給与引当預金	14,500,800	13,911,800	589,000
国際交流準備引当預金	1,500,000	1,500,000	0
百周年記念事業引当預金	5,000,000	5,000,000	0
事務所取得引当預金	62,000,000	62,000,000	0
特定資産合計	83,000,800	82,411,800	589,000
(2) その他固定資産			
預金	1,000,000	1,000,000	0
電話加入権	147,784	147,784	0
敷金	7,126,560	7,126,560	0
その他固定資産合計	8,274,344	8,274,344	0
固定資産合計	91,275,144	90,686,144	589,000
資産合計	211,806,753	208,580,189	3,226,564
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,231,885	4,411,013	1,820,872
前受会費	12,881,102	13,165,796	△ 284,694
仮受金	18,098,663	15,484,704	2,613,959
未払消費税等	1,850,700	2,100,900	△ 250,200
賞与引当金	5,400,000	5,760,000	△ 360,000
流動負債合計	44,462,350	40,922,413	3,539,937
2. 固定負債			
退職給与引当金	14,500,800	13,911,800	589,000
固定負債合計	14,500,800	13,911,800	589,000
負債合計	58,963,150	54,834,213	4,128,937
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金			
指定正味財産合計			
(うち基本財産への充当額)			
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産	152,843,603	153,745,976	△ 902,373
(うち基本財産への充当額)	()	()	()
(うち特定資産への充当額)	(68,500,000)	(68,500,000)	(0)
一般正味財産合計	152,843,603	153,745,976	△ 902,373
負債及び正味財産合計	211,806,753	208,580,189	3,226,564

貸借対照表内訳表

令和7年3月31日 現在

(単位：円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	65,289,767	21,763,255		87,053,022
売掛金	2,744,017			2,744,017
未収会費	740,682	246,894		987,576
未収金	545,441			545,441
販売図書	27,830,779			27,830,779
仮払金	1,370,774			1,370,774
流動資産合計	98,521,460	22,010,149		120,531,609
2. 固定資産				
(1) 特定資産				
退職給与引当預金	10,875,600	3,625,200		14,500,800
国際交流準備引当預金	1,500,000			1,500,000
百周年記念事業引当預金	5,000,000			5,000,000
事務所取得引当預金	46,500,000	15,500,000		62,000,000
特定資産合計	63,875,600	19,125,200		83,000,800
(2) その他固定資産				
預金		1,000,000		1,000,000
電話加入権等	110,838	36,946		147,784
敷金	5,344,920	1,781,640		7,126,560
その他固定資産合計	5,455,758	2,818,586		8,274,344
固定資産合計	69,331,358	21,943,786		91,275,144
資 産 合 計	167,852,818	43,953,935		211,806,753
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	6,231,885			6,231,885
前受会費	9,660,827	3,220,275		12,881,102
仮受金	18,098,663			18,098,663
未払消費税等	1,850,700			1,850,700
賞与引当金	4,050,000	1,350,000		5,400,000
流動負債合計	39,892,075	4,570,275		44,462,350
2. 固定負債				
退職給与引当金	10,875,600	3,625,200		14,500,800
固定負債合計	10,875,600	3,625,200		14,500,800
負 債 合 計	50,767,675	8,195,475		58,963,150
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
寄附金				
指定正味財産合計				
(うち基本財産への充当額)				
(うち特定資産への充当額)				
2. 一般正味財産	117,085,143	35,758,460		152,843,603
(うち基本財産への充当額)	()	()		
(うち特定資産への充当額)	(53,000,000)	(15,500,000)		(68,500,000)
一般正味財産合計	117,085,143	35,758,460		152,843,603
負債及び正味財産合計	167,852,818	43,953,935		211,806,753

正味財産増減計算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取入会金	(226,500)	(256,000)	(△ 29,500)
受取入会金	226,500	256,000	△ 29,500
② 受取会費	(53,036,491)	(54,380,924)	(△ 1,344,433)
第1種正会員受取会費	18,910,567	18,687,592	222,975
第2種正会員受取会費	33,015,074	34,521,132	△ 1,506,058
賛助会員受取会費	898,000	898,000	0
学生会員受取会費	212,850	274,200	△ 61,350
③ 事業収益	(87,971,054)	(82,459,291)	(5,511,763)
集会収入	25,781,224	27,657,683	△ 1,876,459
国際会議収入	12,310,564	0	12,310,564
技士収入	3,317,353	3,067,726	249,627
調査研究収入	8,444,842	7,298,687	1,146,155
刊行物収入	34,502,671	40,238,795	△ 5,736,124
広告料収入	3,504,400	4,086,400	△ 582,000
バナー広告収入	110,000	110,000	0
④ 雑収益	(1,868,710)	(824,000)	(1,044,710)
雑収入	1,868,710	824,000	1,044,710
経常収益計	143,102,755	137,920,215	5,182,540
(2) 経常費用			
① 事業費 公益会計	(122,029,646)	(111,304,738)	(10,724,908)
会誌・論文集発行費	11,511,015	11,820,261	△ 309,246
国際交流費	2,122,499	2,060,835	61,664
集会事業費	8,637,444	8,710,166	△ 72,722
国際会議支出	9,846,656	0	9,846,656
事業推進費	2,142,319	2,079,876	62,443
販売図書原価	9,343,337	11,604,796	△ 2,261,459
技士運営費	2,106,290	1,563,509	542,781
調査研究費	7,653,631	5,868,446	1,785,185
表彰費	410,727	380,718	30,009
借室料	8,399,160	8,399,160	0
水道光熱費	615,103	500,197	114,906
動産賃貸料	1,146,544	944,968	201,576
備品費	931,235	639,074	292,161
印刷製本費	411,061	391,729	19,332
通信運搬費	1,928,118	1,813,408	114,710
通信費	422,376	458,296	△ 35,920
給与手当	44,959,938	43,781,951	1,177,987
賞与引当金戻入額	△ 288,003	△ 781,600	493,597
法定福利費	5,663,797	6,554,911	△ 891,114
退職給与引当金繰入額	441,751	1,057,800	△ 616,049
支払手数料	1,073,946	1,254,391	△ 180,445
雑費	743,907	672,723	71,184
租税課金	1,806,795	1,529,123	277,672
② 管理費 法人会計	(21,975,482)	(21,322,886)	(652,596)
会議費	1,273,089	965,772	307,317
運営・委員会費	2,282,809	2,145,762	137,047
借室料	2,799,720	2,799,720	0
水道光熱費	153,776	125,049	28,727
動産賃貸料	286,636	236,242	50,394

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
備品費	232,809	159,769	73,040
印刷製本費	102,765	97,932	4,833
通信運搬費	482,029	453,352	28,677
通信費	105,593	114,574	△ 8,981
給与手当	11,239,984	10,945,487	294,497
賞与引当金戻入額	△ 72,000	△ 195,400	123,400
法定福利費	1,415,950	1,638,728	△ 222,778
退職給与引当金繰入額	147,250	352,600	△ 205,350
支払手数料	268,487	313,598	△ 45,111
雑費	185,977	168,181	17,796
租税課金	1,070,608	1,001,520	69,088
経常費用計	144,005,128	132,627,624	11,377,504
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 902,373	5,292,591	△ 6,194,964
当期経常増減額	△ 902,373	5,292,591	△ 6,194,964
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 902,373	5,292,591	△ 6,194,964
一般正味財産期首残高	153,745,976	148,453,385	5,292,591
一般正味財産期末残高	152,843,603	153,745,976	△ 902,373
II 指定正味財産増減の部			
寄附金			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
正味財産期末残高	152,843,603	153,745,976	△ 902,373

正味財産増減計算書内訳表
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計					共通	小計	法人会計	内部取引控除	合計
	公1	公2	公3	公4						
	教育事業 講座・セミナー・育成	国際交流事業 国際協力	調査研究事業 資料収集・研究開発	学術評価事業 資格・表彰						
I 一般正味財産増減の部										
1 経常増減の部										
(1) 経常収益										
① 受取入会金	0	0	0	0	113,250	113,250	113,250	0	0	226,500
受取入会金					113,250	113,250	113,250			226,500
② 受取会費	0	0	0	0	26,518,246	26,518,246	26,518,245	0	0	53,036,491
第1種正会員受取会費					9,455,284	9,455,284	9,455,283			18,910,567
第2種正会員受取会費					16,507,537	16,507,537	16,507,537			33,015,074
賛助会員受取会費					449,000	449,000	449,000			898,000
学生会員受取会費					106,425	106,425	106,425			212,850
③ 事業収益	50,728,407	12,310,564	16,608,602	8,213,481	110,000	87,971,054	0	0	0	87,971,054
集会収入	25,781,224					25,781,224				25,781,224
国際会議収入		12,310,564				12,310,564				12,310,564
技士収入				3,317,353		3,317,353				3,317,353
調査研究収入			8,444,842			8,444,842				8,444,842
刊行物収入	24,947,183		4,659,360	4,896,128		34,502,671				34,502,671
広告料収入			3,504,400	0		3,504,400				3,504,400
パナー広告収入					110,000	110,000				110,000
④ 雑収益	0	0	1,555,991	0	312,719	1,868,710	0	0	0	1,868,710
受取利息					55,891	55,891				55,891
雑収入			1,555,991		256,828	1,812,819				1,812,819
経常収益計	50,728,407	12,310,564	18,164,593	8,213,481	27,054,215	116,471,260	26,631,495	0	0	143,102,755
(2) 経常費用										
① 事業費	63,983,034	13,967,835	27,995,322	16,072,732	10,776	122,029,699	0	0	0	122,029,699
会誌発行費			9,854,816			9,854,816				9,854,816
論文集発行費			0	1,656,199		1,656,199				1,656,199
国際交流費		2,122,499	0			2,122,499				2,122,499
国際会議費		9,846,656				9,846,656				9,846,656
集会事業費	8,637,444		0			8,637,444				8,637,444
事業推進費	2,042,319	0	100,000			2,142,319				2,142,319
販売図書原価	9,343,337		0	0		9,343,337				9,343,337
技士運営費	159,097			1,947,193		2,106,290				2,106,290
調査研究費	0		7,653,631			7,653,631				7,653,631
表彰費				410,727		410,727				410,727
借室料	5,521,048	179,182	1,209,479	1,489,451		8,399,160				8,399,160
水道光熱費	394,742	16,685	93,419	110,257		615,103				615,103
動産賃貸料	735,795	31,100	174,131	205,518		1,146,544				1,146,544
備品費	597,620	25,260	141,431	166,924		931,235				931,235
印刷製本費	263,798	11,150	62,430	73,682		411,060				411,060
通信運搬費	1,237,370	52,301	292,833	345,615		1,928,119				1,928,119
通信費	271,059	11,457	64,148	75,711		422,375				422,375
給与手当	28,853,040	1,219,538	6,828,290	8,059,069		44,959,937				44,959,937
法定福利費	3,634,741	153,630	860,189	1,015,236		5,663,796				5,663,796
賞与引当金繰入額	△ 184,824	△ 7,812	△ 43,740	△ 51,624		△ 288,000				△ 288,000
退職給与引当金繰入額	290,377	9,424	63,612	78,337		441,750				441,750
支払手数料	689,205	29,131	163,106	192,505		1,073,947				1,073,947
雑費	477,403	20,178	112,981	133,345		743,907				743,907
租税課金	1,019,463	247,456	364,566	164,587	10,776	1,806,848				1,806,848
② 管理費	0	0	0	0	0	0	21,975,429	0	0	21,975,429
会議費							1,273,089			1,273,089
運営・委員会費							2,282,809			2,282,809
借室料							2,799,720			2,799,720
水道光熱費							153,776			153,776
動産賃貸料							286,636			286,636
備品費							232,809			232,809
印刷製本費							102,765			102,765
通信運搬費							482,029			482,029
通信費							105,594			105,594
給与手当							11,239,984			11,239,984
法定福利費							1,415,950			1,415,950
賞与引当金繰入額							△ 72,000			△ 72,000
退職給与引当金繰入額							147,250			147,250
支払手数料							268,486			268,486
雑費							185,977			185,977
租税課金							1,070,555			1,070,555
経常費用計	63,983,034	13,967,835	27,995,322	16,072,732	10,776	122,029,699	21,975,429	0	0	144,005,128
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 13,254,627	△ 1,657,271	△ 9,830,729	△ 7,859,251	27,043,439	△ 5,558,439	4,656,066	0	0	△ 902,373
基本財産評価損益等										
投資有価証券評価損益等										
評価損益等計										
当期経常増減額	△ 13,254,627	△ 1,657,271	△ 9,830,729	△ 7,859,251	27,043,439	△ 5,558,439	4,656,066	0	0	△ 902,373
2 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 13,254,627	△ 1,657,271	△ 9,830,729	△ 7,859,251	27,043,439	△ 5,558,439	4,656,066	0	0	△ 902,373
一般正味財産期首残高										153,745,976
一般正味財産期末残高										152,843,603
II 指定正味財産増減の部										
寄附金										
登記指定正味財産増減額										
指定正味財産期首残高										
指定正味財産期末残高										
III 正味財産期末残高										152,843,603

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
販売図書 個別法による原価法である。
- (2) 引当金の計上基準
賞与引当金 職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額の当期に帰属する額を計上している。
退職給与引当金 職員の退職金の支給に備えるため、原則として自己都合期末要支給額の全額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理は、税抜き方式を採用している。
- (4) 少額減価償却資産は即時償却を行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給与引当預金	13,911,800	589,000	0	14,500,800
国際交流準備引当預金	1,500,000	0	0	1,500,000
百周年記念事業引当預金	5,000,000	0	0	5,000,000
事務所取得引当預金	62,000,000	0	0	62,000,000
合計	82,411,800	589,000	0	83,000,800

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給与引当預金	14,500,800			14,500,800
国際交流準備引当預金	1,500,000		1,500,000	
百周年記念事業引当預金	5,000,000		5,000,000	
事務所取得引当預金	62,000,000		62,000,000	
合計	83,000,800		68,500,000	14,500,800

4. 担保提供資産は次のとおりである。

みずほ銀行横山町支店 定期預金1,000,000円は、当座取引の担保に提供している。

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	退職給与引当預金	13,911,800	589,000		14,500,800
	国際交流準備引当預金	1,500,000			1,500,000
	百周年記念事業引当預金	5,000,000			5,000,000
	事務所取得引当預金	62,000,000			62,000,000
	特定資産計	82,411,800	589,000	0	83,000,800

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	5,760,000			360,000	5,400,000
退職給与引当金	13,911,800	589,000			14,500,800

(注) 1 引当金の計上基準については、財務諸表に対する注記 1. 重要な会計方針 (2) に記載してある。

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・数量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	238,584		
			<現金計>	238,584		
	預金	<当座預金> みずほ銀行横山町支店	運転資金として	13,344,423		
			<普通預金> みずほ銀行横山町支店	運転資金として	55,365,421	
			三菱UFJ銀行四谷支店	運転資金として	13,928,877	
			三井住友銀行四谷支店	運転資金として	385,747	
			ゆうちょ銀行振替口座	運転資金として	3,789,970	
			<預金計>	86,814,438		
			<現金預金計>	87,053,022		
			売掛金	取次(日販・トーハン) 得意先・一般個人・会員等	学会出版物売掛金	429,759
					学会出版物売掛金	2,314,258
					<売掛金計>	2,744,017
	未収会費		会員に対する会費	987,576		
			<未収会費計>	987,576		
	未収金	その他広告主 集会収入未収金	会誌広告掲載料	349,140		
				196,301		
			<未収金計>	545,441		
	販売図書	冷凍空調便覧(第6版) 法規集 標準テキスト冷凍空調技術 (初級・上級) 冷凍受験テキスト(初級・上級) 冷凍サイクル制御 測定器の取扱方法 冷媒の凝縮 湿度制御設計ガイド 食品冷凍技術 冷凍空調手帳 冷凍用自動制御機器 冷蔵倉庫 冷凍サイクルの動特性と制御 冷媒圧縮機 英語版冷媒圧縮機 気体の液化と極低温プロセス JAREf R410A その他		11,981,005		
				1,070,669		
				2,710,042		
				1,327,473		
				357,012		
				307,983		
				575,000		
				819,000		
				1,302,400		
				1,282,176		
				1,086,180		
				779,520		
				294,354		
				627,150		
				1,674,755		
			298,800			
			316,344			
			1,020,916			
<販売図書計>			27,830,779			

貸借対照表科目		場所・数量等	使用目的等	金額	
	仮払金	日本橋大富ビル4月分賃料及び 共益費		1,026,564	
		地区事業推進委員会	地区活動資金	344,210	
			<仮払金計>	1,370,774	
流動資産合計				120,531,609	
(固定資産)					
特定資産	退職給与引当預金	<普通預金> 三菱UFJ銀行四谷三丁目支店	職員に対する退職金の支払いに 備えた引当預金である	14,500,800	
		<定期預金> みずほ銀行横山町支店	国際交流事業支出および今後開 催予定の国際会議支出に備えた 引当預金である	1,500,000	
		<定期預金> みずほ銀行横山町支店	日本冷凍空調学会の創立百周年 記念事業支出に備えた引当預金 である	5,000,000	
		<定期預金> 三井住友銀行麹町支店	事務所の取得支出に備えた引当 預金である	60,000,000	
	その他の固定資産	預金	<普通預金> 三菱UFJ銀行四谷支店		2,000,000
				《特定資産計》	83,000,800
		電話加入権	<定期預金> みずほ銀行横山町支店	当座取引担保金	1,000,000
				<預金計>	1,000,000
		敷金	03-5623-3223	75%は教育事業等公益事業の利 用に相当する公益目的保有財産 であり、25%は管理部門の利用 に相当する財産で共有財産であ る	147,784
			日本橋大富ビル事務所借上敷金	75%は教育事業等公益事業の利 用に相当する公益目的保有財産 であり、25%は管理部門の利用 に相当する財産で共有財産であ る	147,784
		<敷金計>	7,126,560		
		《その他固定資産計》	8,274,344		
固定資産合計				91,275,144	
資産合計				211,806,753	
(流動負債)	未払金	日本印刷(株)	学会誌印刷費の未払い	1,397,220	
		JPビズメール	学会誌発送料の未払い	228,528	
		人件費	職員に対する経過分給与等	2,935,522	
		ニッセイエブプロ(株)	論文集印刷費の未払い	236,368	
		IIR	年会費・相互会費の未払い	169,908	
		講師	空調技士試験謝礼等の未払	467,000	
		その他		797,339	
			<未払金計>	6,231,885	

貸借対照表科目		場所・数量等	使用目的等	金額
	前受会費		会員からの会費	12,881,102
			<前受会費計>	12,881,102
	仮受金		所得税・地方税預り金	393,503
			社会保険料等預り金	429,120
			次年度事業活動に対する預り金	239,696
			調査研究プロジェクトの繰越金	10,737,248
			百周年記念事業協賛金	6,210,000
			返金予定等	89,096
			<仮受金計>	18,098,663
	未払消費税等		消費税の未払額	1,850,700
	<未払消費税等計>	1,850,700		
賞与引当金	職員に対する夏季手当の支払いに備えたもの	5,400,000		
	<賞与引当金計>	5,400,000		
流動負債合計				44,462,350
(固定負債)	退職給与引当金		職員に対する退職金の支払いに備えたもの	14,500,800
			<退職給与引当金計>	14,500,800
固定負債合計				14,500,800
負債合計				58,963,150
正味財産				152,843,603

収 支 計 算 書

令和6年4月1日から令和7年3月31日

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 入会金収入	(300,000)	(226,500)	(△ 73,500)	
入会金収入	300,000	226,500	△ 73,500	
② 会費収入	(55,200,000)	(53,036,491)	(△ 2,163,509)	
第1種正会員会費収入	18,000,000	18,910,567	910,567	
第2種正会員会費収入	36,000,000	33,015,074	△ 2,984,926	
賛助会員会費収入	900,000	898,000	△ 2,000	
学生会員会費収入	300,000	212,850	△ 87,150	
③ 事業収入	(104,352,000)	(87,971,054)	(△ 16,380,946)	
集会収入	27,680,000	25,781,224	△ 1,898,776	
国際会議収入	15,000,000	12,310,564	△ 2,689,436	
技士収入	3,299,000	3,317,353	18,353	
調査研究収入	10,323,000	8,444,842	△ 1,878,158	
刊行物収入	43,050,000	34,502,671	△ 8,547,329	
広告料収入	5,000,000	3,504,400	△ 1,495,600	
バナー広告収入	0	110,000	110,000	
④ 雑収入	(1,508,000)	(1,868,710)	(△ 360,710)	
雑収入	1,508,000	1,868,710	360,710	
事業活動収入計	161,360,000	143,102,755	△ 18,257,245	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	(136,322,972)	(123,965,480)	(△ 12,357,492)	
会誌・論文集発行費支出	12,531,000	11,511,015	△ 1,019,985	
国際交流費支出	2,717,000	2,122,499	△ 594,501	
集会事業費支出	11,813,000	8,637,444	△ 3,175,556	
国際会議支出	12,000,000	9,846,656	△ 2,153,344	
事業推進費支出	3,141,000	2,142,319	△ 998,681	
図書作成費支出	15,142,000	11,432,868	△ 3,709,132	
技士運営費支出	2,290,000	2,106,290	△ 183,710	
調査研究費支出	9,611,000	7,653,631	△ 1,957,369	
表彰費支出	531,000	410,727	△ 120,273	
借室料支出	8,400,000	8,399,160	△ 840	
水道光熱費支出	536,000	615,103	79,103	
動産賃借料支出	1,280,000	1,146,544	△ 133,456	
備品費支出	640,000	931,235	291,235	
印刷製本費支出	480,000	411,060	△ 68,940	
通信運搬費支出	1,960,000	1,928,119	△ 31,881	
通信費支出	560,000	422,375	△ 137,625	
給与手当	42,560,000	44,959,937	2,399,937	
法定福利費	6,080,000	5,663,796	△ 416,204	
支払手数料支出	1,440,000	1,073,947	△ 366,053	
雑支出	640,000	743,907	103,907	
租税課金支出	1,970,972	1,806,848	△ 164,124	
事業費支出計	136,322,972	123,965,480	△ 12,357,492	
② 管理費支出	(23,600,028)	(21,900,179)	(△ 1,699,849)	
会議費支出	2,061,000	1,273,089	△ 787,911	
運営管理費支出	3,666,000	2,282,809	△ 1,383,191	
借室料支出	2,800,000	2,799,720	△ 280	
水道光熱費支出	134,000	153,776	19,776	
動産賃借料支出	320,000	286,636	△ 33,364	
備品費支出	160,000	232,809	72,809	
印刷製本費支出	120,000	102,765	△ 17,235	
通信運搬費支出	490,000	482,029	△ 7,971	
通信費支出	140,000	105,594	△ 34,406	

科目	予算額	決算額	差異	備考
給与手当	10,640,000	11,239,984	599,984	
法定福利費	1,520,000	1,415,950	△ 104,050	
支払手数料支出	360,000	268,486	△ 91,514	
雑支出	160,000	185,977	25,977	
租税課金支出	1,029,028	1,070,555	41,527	
管理費支出計	23,600,028	21,900,179	△ 1,699,849	
事業活動支出計	159,923,000	145,865,659	△ 14,057,341	
事業活動収支差額	1,437,000	△ 2,762,904	△ 4,199,904	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	(0)	(0)	(0)	
退職給与引当預金取崩収入	0	0	0	
国際交流費引当金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	(1,437,000)	(589,000)	(△ 848,000)	
退職給与引当資産取得支出	1,437,000	589,000	△ 848,000	
投資活動支出計	1,437,000	589,000	△ 848,000	
投資活動収支差額	△ 1,437,000	△ 589,000	848,000	
当期収支差額	0	△ 3,351,904	△ 3,351,904	
前期繰越収支差額	56,990,384	56,990,384	0	
次期繰越収支差額	56,990,384	53,638,480	△ 3,351,904	

1. 借入金限度額および債務負担額については該当なし。
2. 刊行物収入は冷凍購読料，論文集，図書，便覧及び委託書収入の合計である。
3. 事業活動支出については別紙に詳細を記載する。

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、売掛金、未収会費、未収金、仮払金、未払金、前受会費、仮受金、未払消費税等を含めている。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高	科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	83,452,118	87,053,022	未払金	4,411,013	6,231,885
売掛金	4,706,076	2,744,017	前受会費	13,165,796	12,881,102
未収会費	1,194,789	987,576	仮受金	15,484,704	18,098,663
未収金	1,287,082	545,441	未払消費税等	2,100,900	1,850,700
仮払金	1,512,732	1,370,774			
合計	92,152,797	92,700,830	合計	35,162,413	39,062,350
			次期繰越収支差額	56,990,384	53,638,480

以上のとおり報告致します。

令和7年4月15日

公益社団法人 日本冷凍空調学会

会長

齊藤 潔

監 査 報 告 書

公益社団法人 日本冷凍空調学会
会長 齋藤 潔 殿

令和 7年 4月 15日
公益社団法人 日本冷凍空調学会

監 事 四十宮 正人
監 事 平良 繁治
監 事 宮良 明男

私たちは、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たちは、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

また、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。